

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	生理学2	講義	4	80	解剖学・病理学・臨床医学各論
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸 2学年	川村直紀 竹村千冬	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>人体の生理機能を理解し、国家試験相当の難易度の問題解答能力を養う。 その知識は臨床科目の基礎となるよう繰り返しの定着に努める。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この授業では西洋医学の基本的な知識を身に着けることで、多種多様な疾患の原因や予後など病気について幅広く推測する力をつけることを念頭に置いて臨みましょう。 1年生からの継続として2年生の前半は体の機能を中心に進めていきますが、後半では神経や運動機能を学び人間の身体機能のすべてを理解できるように学んでいきましょう。 常にメモを取り、まとめなおして、覚える、という、インプットとアウトプットを繰り返すよう努めてください。</p>					
教科書・参考書					
教科書:医歯薬出版 東洋療法学校協会編 「生理学」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	筆記試験の正答率を成績判定の参考とします。			
その他		臨時に成績判定に組み入れる課題を別途追加して評価割合を変更する場合は事前に告知します。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		3章 呼吸 A 呼吸器 キーワード:呼吸・肺胞		/	川村
2		B 換気とガス交換 キーワード:ガス交換・肺気量		/	川村
3		C 呼吸運動とその調節 キーワード:呼吸筋・呼吸の反射性調節		/	川村
4		4章 消化と吸収 A 消化と吸収 B消化管の運動 キーワード:消化酵素・咀嚼・嚥下		/	川村
5		C 消化液 キーワード:唾液・胃液・膵液		/	川村
6		C 消化液 キーワード:胆汁・腸液		/	川村
7		D 吸収 キーワード:小腸の吸収		/	川村
8		E 肝臓の働き F 摂食の調節 キーワード:代謝・摂食中枢		/	川村
9		5章 代謝 A 食品と栄養 B代謝 キーワード:栄養素・基礎代謝・呼吸商		/	川村
10		C 各栄養素の働きと代謝 キーワード:糖質・脂質・タンパク質		/	川村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		6章 体温 A 体温調節 キーワード:概日リズム 体温調節中枢		/	川村
12		B 体熱の産生と放散 キーワード:熱産生(産熱) 熱放熱(放熱)		/	川村
13		C 発汗とその調節 D 体温調節の障害 キーワード:汗腺・発熱物質		/	川村
14		7章 排泄 A 腎臓の働き キーワード:腎臓の構造		/	川村
15		B 腎循環 キーワード:腎血流量		/	川村
16		C 尿生成 キーワード:ネフロン・糸球体濾過		/	川村
17		D 腎臓と体液の調節 キーワード:体液のPHの調節		/	川村
18		E 畜尿と排尿 キーワード:膀胱と尿道の支配神経		/	川村
19		8章 内分泌 A ホルモンの特徴 キーワード:ホルモンの科学構造		/	川村
20		B ホルモンの種類と働き キーワード:腺下垂体・神経下垂体		/	川村
授業外で試験を実施					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		B ホルモンの種類と働き キーワード: 甲状腺ホルモン 副甲状腺ホルモン		/	川村
22		B ホルモンの種類と働き キーワード: 副腎髄質ホルモン		/	川村
23		B ホルモンの種類と働き キーワード: 副腎皮質ホルモン		/	川村
24		B ホルモンの種類と働き キーワード: 精巣ホルモン 卵巣ホルモン		/	川村
25		9章 生殖・成長と老化 A 生殖 キーワード: 男性・女性生殖器		/	川村
26		B 妊娠と出産 キーワード: 受精・着床・妊娠		/	川村
27		C 成長 D 老化		/	川村
28		第14章 生体の防御機構 A 生体の防御機構 キーワード: 先天性・後天性免疫		/	川村
29		B 免疫反応 キーワード: 液性免疫・細胞性免疫		/	川村
30		15章 身体活動の協調 キーワード: ホメオスタシス		/	川村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		10章 神経 自律神経の神経伝達物質と受容体 自律神経系の中樞		/	竹村
32		自律神経の関与する反射		/	竹村
33		11章 筋 骨格筋の構造と働き 筋の収縮の仕組み		/	竹村
34		筋のエネルギー供給の仕組み 心筋と平滑筋		/	竹村
35		12章 運動 骨格筋の神経支配 運動の調節 脊髄レベルでの調節		/	竹村
36		運動の調節 脳幹による調節		/	竹村
37		運動の調節 大脳による調節 錐体路系と錐体外路系 発声と言語		/	竹村
38		13章 感覚の分類と一般的性質 体性感覚		/	竹村
39		内臓感覚 痛覚		/	竹村
40		味覚と嗅覚 聴覚		/	竹村
授業外で試験を実施					